

# 発表

1. 発表とは「プレゼン」でありショーです。見せ物です。
2. そこには脚本があり、演出があり、出演者がいます。
3. すべての単語にはアクセントを付けて、抑揚も間違えずに練習します。

日本人にとって最も苦手なのが「発表」つまり「プレゼン」です。日本語でも上手に出来る人は少ないのに、英語となると頭が真っ白という人が大部分ではないでしょうか。実は筆者もそのひとりでした。それではまず言語に関係なく「上手なプレゼン」とは何かという所から入って行きましょう。その後で英語特有のコツをご紹介します。

筆者にとって「プレゼン」とはショーです。見せ物です。そこには脚本があり、演出があり、出演者がいます。アップルのステーブ・ジョブスはIT業界で一番有名なプレゼンターです。YouTube に彼のプレゼンが数多く載せられているので、いい教材になります。彼のプレゼンから分かるコツは以下のようになります [2]。

- ・プレゼンターは役者であり、聴衆を感動させるのが仕事。
- ・脚本を練り、演出を工夫し、何度も練習する事が大切。
- ・スライドは使わないか、使うにしてもキーワードひとつだけ。
- ・話を聞いてもらうため、それ以外の邪魔者は舞台に出さない。